

(No.5) ワーク 1

「ダイバーシティ（多様性）」という言葉から、どのようなイメージが浮かびますか？
単語でもかまいませんので、できればご自身の考えをお手元のノートに書き出してみてください。

「ダイバーシティ（多様性）」というイメージは人によってそれぞれです。
自社（支援先企業）において、様々な立場の人が協働するため、文化的な「違い」がある
従業員にとっても働きやすい職場を作ることが求められています。

次の動画以降で、ダイバーシティマネジメントの理解を深めていきましょう。

「ダイバーシティ（多様性）」というイメージは人によってそれぞれです。
自社（支援先企業）において、様々な立場の人が協働するため、文化的な「違い」がある
従業員にとっても働きやすい職場を作ることが求められています。

次の動画以降で、ダイバーシティマネジメントの理解を深めていきましょう。

(No.5) ワーク2

(「事例紹介」の動画を視聴してから回答してください。)

「違い」に対してどこまで踏み込んでいいのか分からないという事例について、あなたは似たような経験をしたか、話を聞いたりしたことはありますか？

どこからがハラスメント？



どこまで踏み込むべき？

水野さん

経験や感想について、できればご自身の考えをお手元のノートに書き出してみてください。

回答例 ※正解例ではありません

「健康診断の結果の提出を求めたところ、プライベートな内容を教えたくないと言われ拒否されてしまった。
会社としては外国人社員の健康にも留意したいが、体調面など深く聞かれたくないことを何度も聞くのは気がとがめる。」

「イスラム教の方について、どのような食事をするのか配慮をしたいが、宗教的な質問をどこまでしてもよいかわからないでいる。
また、それを他の社員に周知すべきか悩む。」

目の前の外国人社員を尊重したいと思いつつも、そのための適切な対応がわからず、悩んだ経験があったのではないのでしょうか。
適切な距離を保つことと、ここぞというときに踏み込むことの、双方の行動のバランスに戸惑うこともあるでしょう。

トラブルを避けるため、外国人社員と距離を取るのには簡単ですが、外国人社員と信頼関係を築き、能力を引き出すためには、
一歩踏み込んでコミュニケーションを取ることも求められます。

記述していただいたあなたの経験を踏まえて、ダイバーシティマネジメントについて考えを深めていきましょう。

(No.5) ワーク3

(「1.6 リモートマネジメントのポイント」の動画を視聴してから回答してください。)

リモートワークにおけるコミュニケーション、マネジメントについて、今後アクションできそうなことには何がありますか？

できればご自身の考えをお手元のノートに書き出してみてください。

回答例 ※正解例ではありません

「オンライン会議の際、結果や結論を先に示して話すようにし、ニュアンスで伝えるのではなく、言いたいことを端的に表現するようにする。」

「雑談が生じにくく、コミュニケーション不足になることが想定されるため、毎朝のミーティング時にお互いの話をする時間を作る。」

リモートワークにおいては、対面時よりも表情や声のトーンなどニュアンスをつかむことが難しいものです。期待（目的や役割）を明確に示すこと、結論を先に話すことを心掛けましょう。

さらにわかりやすく話すための注意点としては、発音を明瞭に、少しゆっくり話すこと、簡単な単語を使うこと、短文で話すことも挙げられます。

対面時との違いを理解して、リモートマネジメントを積極的に活用していきましょう。